

唐松岳・五竜岳

日本100名山を歩く

2020年9月20日～21日

L：手塚、澤田、磯部規（記）



駐車場からの白馬連山

例年だと連休の混雑が心配だが、幸か不幸かコロナのために、山小屋泊は予約が必要になり、人数も絞っての営業なのでその点では過ぎやすそうだ。

住所や氏名を記入する手間はかかったが、ゴンドラも待つことなくスムーズに乗れた。



タカネマツムシソウ

残念ながら天候は、よくない。時折白馬の町は見えるが、稜線はガスの中。整備された木道を八方池まで進む。池に映る白馬岳の姿も見たかったが叶わなかった。



八方池

八方池を越えると人がまばらになると思っていたが、この天候にもよらず、次々に登ってくるし下山者も増えてきた。



扇雪溪で休み、急登をへて、丸山ケルンに着く頃には、時折、雲が切れた。だした。

今日は唐松泊まりなので、しばらく天気回復を待つことにする。

五竜方面は、一時的に見えたがすぐに雲に隠れてしまった。でも、白馬方面は少しずつ見えてきた。登山者がそろってシャッターを押す。

小屋直下の道は、十数年前と大きく違っていた。以前はトラバース気味になっていた登山道が完全にヤセ尾根の急登になっていた。



小屋から見る唐松岳

ゆっくり歩いて12時ごろ小屋に着いた。ここへ荷物を置いて、頂上へ向かう。風が強い。20分ほどで山頂に着いた。



頂上からはカッコイイ剣岳や槍ヶ岳まで見えて、アルプスの展望はさすが！だった。

小屋は定員の三分の一の人数しか入れていないのでゆったりスペースで割り振られた。1人スペース毎に、透明シートが張られて、空気清浄機も動いていた。

駐車場(6:30)-八方山荘(7:35)-八方池10:20)-扇雪溪(10:29)-丸山ケルン(10:50)-唐松山荘(12:10)-山頂(13:00)-小屋(13:40)

2日目は4時に起床して、5時から朝食を食べた。

帰りの最終ゴンドラが16:30なので余裕たっぷりでもなく、早々に出発する。

直ぐに牛首の岩稜帯にさしかかるので、ストックはたたみ、ヘルメットを装着した。



牛首の鎖場

ガスっているのが、良いのか悪いのか……。岩が濡れていると嫌らしかったが、乾いていたのでクサリをつかみながら、慎重に下りれば、怖さはなかった。

楽しかった！！というメンバーの声。

朝のガスが徐々に取れてきた。



五竜山荘が見えた

白岳から振り返ると唐松からの縦走路が見えて、気持ち良かった。

遠見尾根との分岐を経て、コースタイム通りに五竜山荘へ着いた。



五竜岳

荷を軽くして、五竜岳へ8時30分にのぼり出す。

進むほどに岩場が出てくる。が、足場はしっかりしているし、鎖場も短いので難なくたどり着けた。

しばらく展望を楽しんだあと、名残惜しくも下山開始。下山は、道の譲り合いが多くて、上りより20分も余計にかかってしまった。



笑顔で登頂

五竜山荘で、3個300円の美味しい「いなり寿司」を食べて、いよいよ、長い遠見尾根を下り始める。最初は何カ所かの鎖場があるが、岩稜帯も西遠見岳あたりまでで、次第に樹林のなかのなだらかな道になる。



ウラシマツツジの紅葉

天候は、山荘からガスが増えてきて展望は全くなし。ひたすら歩くのみ。

15:00に小遠見を通過しないといけないので急いだが、余裕を持ってゴンドラに乗れた。

唐松山荘(5:35)-五竜山荘(8:05)-五竜山頂(9:20)-山荘(11:05)-(11:35)-中遠見(13:50)-ゴンドラ駅(15:30)